



# 宝永小だより

No.4

福井市宝永小学校  
令和8年5月22日

学校教育目標:ひとり立ちできる子 ~心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成~  
めざす児童像:進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にす子

## 令和8年度、こんな宝永小を目指します!

本校では、今年度のスクールプランを下記のように作成しました(本校ホームページにも掲載)。本校の教育目標「ひとり立ちできる子 ~心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成~」を掲げ、日々の教育活動を進めていきます。

4月当初に、全教職員で本校の「強み」と「弱み」を洗い出し、福井市教育委員会指定の6つの取組の中から、本校では本年度も「わかる授業づくり」と「居場所づくり・絆づくり」をつなげて、重点的に取り組むこととしました。また、本校の研究主題「自ら考動し、学び合う子」を目指して ~主体的・対話的な学びを通して自己決定できる力の育成~は3年次を迎え、子どもたちが自己決定する場を様々な学習で設定すると共に、相手や目的に応じて、子どもたちが自分の思いや考えを相手に伝えるように表現したり、友達の意見とつなげて話したりする「伝え合う力」の育成を目指したいと思っています。さらに、一昨年度から取り組み始めた「ポジティブ教育」を、「宝永版ポジティブ教育 <強み>と<弱み>の洗い出し」年間指導計画に基づいて計画的かつ系統的に授業実践を重ね、学校行事等の場で実行できる環境を整えていく予定です。総じて、子どもたちには、新しい時代をたくましく生き抜く力や逆境に負けないしなやかな心を身に付けてほしいと考えています。



「地域を活用した学習・活動の工夫」では、本年度、福井県教育委員会の「ふるさと未来デザイン事業」に取り組み、宝永地区や福井市、福井県の自然、伝統・文化、暮らし、産業等について調べ、「ふるさと福井の魅力」を発信する学習を進めています。そして、地域に誇りと愛情をもち、地域に貢献できる子を育成します。「望ましい生活習慣の確立」や「家庭・地域との協働体制の構築」も合わせて取り組み、より一層の教育効果を発揮できるよう、今後とも保護者や地域の皆様とともに教育活動に努めて参ります。ご理解とご協力をお願いします。

<b>福井市学校教育目標</b> 郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成 <b>学校教育方針</b> 学びをつなぐ・未来につなげる ~「つながる」を大切にした学校づくり~		<b>令和8年度 福井市宝永小学校 スクールプラン</b> <b>校訓</b> 原 泉 「源泉混々として感夜をおかす」という孟子の言葉を書いた福井藩16代藩主 松平春暉の書に由来する。		<b>保護者・地域・教職員の強み</b> ・歴史と伝統のある学校である。 ・史跡や文化・公共施設、古くからの商業地を有し、様々な学習素材を活用できる。 ・地域の人材が豊富であるとともに、地域や保護者の学校教育活動への理解度が高く、協力的である。 ・教職員間の雰囲気は温かく、お互いが気軽に話したり、相談し合える。
<b>本校児童の強み</b> ・今の自分の能力に応じて、学習の場や方法、練習内容を選ぶことのできる子どもが多くなってきた。 ・体験活動が多く設定することで、実感をもって理解したことを生活に生かそうとする姿が見られるようになった <b>本校児童の弱み</b> ・失敗してはいけない、失敗するのがこわいという思いから、主体的に動くことに消極的になりがちである。 ・自ら困っていることを伝えられない子どもがいる。		<b>教育目標</b> <b>ひとり立ちできる子</b> ~心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成~ <b>研究主題</b> <b>自ら考動し、学び合う子を目指して</b> ~主体的・対話的な学びを通して自己決定できる力の育成~		<b>保護者・地域・教職員の願い</b> ・新しい時代をたくましく生き抜く力を身に付けてほしい。 ・地域に誇りと愛着をもち、地域に貢献できる子になってほしい。 ・自分で考え、行動できる子になってほしい。
<b>重点目標</b>				
<b>確かな学力の向上</b> 進んで学び合える子	<b>豊かな心の育成</b> 協力し合える子	<b>健やかな心と体の育成</b> 心と体を鍛える子	<b>家庭・地域との連携</b> ふるさとを大切にす子	
<b>わかる授業づくり</b> ◎確かな知識や豊富な経験の獲得 ・基礎基本の定着 ・本物に出会う学びの場の設定 ・実体験を伴う学習の充実 ◎主体的・対話的で深い学びの実現 ・自己決定できる場の設定 ・思いや考えがつながるための「伝え合う力」の育成の工夫 ◎課題探究に向けての学習環境づくり ・ICTの活用 ・読書活動の推進 ◎教科等横断的な視点での授業づくり ◎教職員の自己研鑽と協働体制 ・10参観による教職員の学び合い	<b>居場所づくり・絆づくり</b> ◎ポジティブ教育の推進 ・社会性の育成 ・認め合い、支え合う学級・学校づくり ・逆境に負けないしなやかな心の育成 ◎思いやりと感謝の心の醸成 ・人権教育を含めた道徳教育の充実 ・にこフレ(縦割り)活動の充実 ・「思いやり清掃」の推進 ・「ありがとう」を伝える活動の推進 ◎教職員による児童理解と支援の充実 ・いじめを見逃さない生徒支援 ・規律ある生活態度の定着 ・規範意識や自己肯定感の涵養	<b>心づくり・体づくり</b> ◎望ましい生活習慣の確立 ・食育と健康教育の推進 ・早寝、早起き、朝ごはんの推進 ・挨拶運動の推進 ・情報モラルとスマートルールの定着 ◎自己の健康・体力の向上 ・運動習慣の確立と推進 ・自己管理能力を高める保健指導 ◎防災意識や危機管理能力の高揚 ・登下校の安全確保と安全教育の充実 ・計画的に実施する避難訓練の充実	<b>家庭・地域や中学校区との連携</b> ◎地域を活用した学習・活動の工夫 ・地域の資源や人材の積極的活用 ・生き生きと夢をもっている素敵大人から学ぶキャリア教育活動の推進 ◎家庭・地域との協働体制の構築 ・関係団体との協働事業の推進 (学校ボランティア・見守り隊) ・情報発信による子どもの成長の共有 (学校公開・学校だより・学年だより・HP) ◎園小連携の継続と移行支援の充実	
・(児)学級の友だちとの間で話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広げたりできている 95%以上 ・(児)授業中、分かる喜びや、できる楽しさを感じられる 95%以上 ・(教)全教育活動で自己決定する場を多く設定し児童が学年相応の表現力を身に付けるように工夫している 95%以上	・(児)学校が楽しい 95%以上 ・(児)みんなで何かをするのは楽しい 95%以上 ・(児)いじめを見たら大人に知らせたり、とめたりすることができる 80%以上 ・(保)我が子は、学校生活を楽しんでおり、友人関係も良好である 95%以上 ・(教)児童の良い点や頑張っている点を積極的に認め、ほめている 95%以上	・(児)体育の授業以外に、1日30分以上、体を動かしている 80%以上 ・(児)早寝早起き朝ご飯などの規則正しい生活ができている 90%以上 ・眼科受診率・歯科受診率 90%以上 ・(保)我が子は、友達や地域の人にあいさつしている 85%以上 ・(保)我が子は、「我が家のスマートルール」を守っている 75%以上	・(児)ふるさと福井を大切にしたい 95%以上 ・(児)将来の夢やめざす目標をもっている 90%以上 ・(保)学校は地域の人材や環境を生かし、つながりを大切にしている 90%以上 ・(保)子どものことで、気軽に学校に相談できる 90%以上 ・(教)地域の人材や環境を積極的に活用している 90%以上	
【業務改善のための取組】 ①終了時刻の明確化による会議時間の短縮 ②C4h導入による業務推進の工夫 ③タブレットを活用した会議・連絡(情報の共有) ④留守番電話の活用 ⑤文書ファイルの適正化による業務の効率化				

## 1年生 交通ルールを確認 5月7日(木)

福井警察署員のご指導のもと、交通安全教室を開催しました。子どもたちは体育館で、歩道の安全な歩き方や横断歩道の渡り方などについて学びました。また、信号機のない横断歩道での「横断アクション・ペコリン運動」についても教わりました。

その後、子どもたちは外に出て、一人ずつ、児童玄関から出発しました。本校西側の横断歩道を渡り、尾上公園横の歩道を進みます。そして、尾上公園南側の信号のある横断歩道を渡り、歩道を東進します。最後に、校庭南側中程の横断歩道を渡り、校庭南側の歩道を進み、校庭の南西角を北進し、児童玄関に戻りました。子どもたちは横断歩道を渡るときに、①止まる ②手を挙げる ③見る ④ペコリンというルールを守り、いつも以上に安全を確かめながら歩いていました。また、横断歩道を渡り切ると、停止していただいた自動車の運転手に、お礼のお辞儀(ペコリン)をしていました。実際に道路を歩くことで、道路の安全な歩き方や交通ルールを再確認することができました。ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



＜信号のない横断歩道を渡る様子＞

1年生の子どもたちは、登校時には上級生に連れられて歩き、自分で判断して安全に歩く意識が低い場合が多いですが、これを機に、自分の目で安全を確かめて、よく考えて、自分の命は自分で守る行動をしてほしいと思っています。ご家庭でも、改めて、ご確認をお願いします。

## 3年生 自転車の安全な乗り方を確認 5月7日(木)

福井警察署員のご指導のもと、自転車教室を開催しました。子どもたちは、校庭で、自転車の安全な乗り方や交通ルールについて学びました。その後、実際に自転車の乗り方の練習をしました。Aコースは、①まっすぐ、ゆっくり走る②目印のコーンを使って、ゆっくり曲がる練習です。Bコースは、①スタート②角を曲がる③駐車車両④横断歩道⑤停止の練習です。子どもたちは、安全確認は左右だけでなく、後ろも大切であることを学んでいました。繰り返し練習するうちに、子どもたちの乗り方も上達していきました。



＜Aコースで自転車の乗り方を練習する様子＞

学年が上がるにつれて、子どもたちの行動範囲も広がっていきます。ご家庭でも、上記の「自転車の乗り方」と「ブタハシャベル」、「宝永っ子のやくそく」のご確認をお願いします。

### 「ブタハシャベル」

- ⑦レーキ
- ⑧タイヤ
- ⑨ハンドル
- ⑩シヤタイ
- ⑪ベル

※乗る前に点検

### ＜自転車の乗り方＞

- ①両手でブレーキをかける
- ②自転車の左から乗る
- ③右ペダルの上に足を乗せる
- ④安全確認をする(特に右後方)



### 「宝永っ子のやくそく」＜校外生活＞

・自転車は乗る前に点検し、きまりを守って、次の場所で安全に注意して乗りましょう。必ずヘルメットをかぶりましょう。

☆1・2年・・・公園

☆3～6年・・・宝永小学校区内

(3年は、交通安全教室終了後)

両教室とも、福井警察署の皆様と地域交通安全活動推進委員 ○○○○ 様に、ご指導いただきました。お忙しい中、ありがとうございました。



## 5年生 BLS教室「命について考える」 5月8日(金)

福井市中消防署の署員の方をお招きし、保健指導の一環として「BLS教室(AEDを用いた一次救命処置法)」を実施しました。子どもたちは心肺蘇生トレーニングキットを使って、胸骨圧迫の体＜胸骨圧迫の仕方を学ぶ＞験とAEDの使い方の体験をすることができました。救命処置や心肺蘇生の重要性を学ぶことができました。

## 5年生 貴重な田植え体験 5月11日(月)

「一乗谷あさくら水の駅」の体験農園で、子どもたちは田植えを体験しました。福井市農村整備課や地元農家の皆様の丁寧なご指導のもと、子どもたちは植える位置の目印を付ける枠回しに挑戦をしました。その後、田んぼに付けられた目印に合わせて苗を手で植えていきました。子どもたちは、泥だらけになりながら、苗を植える大変さを実感し、農業への理解を深めるとともに、食に対する関心や感謝の気持ちをもつことができました。秋には、稲刈りの体験をする予定です。



＜田植えの様子 →＞

### 5年児童の感想

農家の大変さを知り、いつも食べているご飯の大切さがわかりました。

\*5月17日(日)の宝永区民体育祭では、子どもたちが保護者の皆様や地域の皆様にお世話になり、ありがとうございました。子どもたちからは「楽しかった。」という声が聞かれ、地域の一員としての役割を果たせたことで、自信を付けたように思われます。